

小川和夫 （さいかは） 英米文學者。明治四十一年八月十日東京生れ（一九〇九）。昭和十年東京帝國大學文學部英文科卒。日本放送協會外信部長。

譯書に、エドガヤ・ヤレン・ポオ著『ユリイカ』（牧野信一共譯、昭和十年八月十日芝書店）、ステイヴンソン作『プリンス・オットー』（昭和二十二年一月二十日思索社。再刊、ステイヴンソン作・二十七年六月五日岩波書店「岩波文庫」）、バイロン作『自我の人間マンフレッド』（昭和二十四年十月十日日本評論社「世界古典文庫」。改題再刊『マンフレッド』二十五年二月五日岩波書店「岩波文庫」）、同『ドン・ジユアン』（昭和二十年七月一日研究社出版株式会社「研究社選書」）、D・H・ロレンス著『無意識の幻想』（昭和二十二年一月十五日南雲堂「南雲堂不死鳥選書」）等。

著書に近代英文學と知性―自我の發

展』（昭和二十七年五月二十五日研究

社出版株式會社）、『アメリカ文學の

おける新批評―ランサム・ブルツクス

ペン・ウォーレンなど』（昭和二十九

年一月十五日早川書房「現代芸術選

書」）、『ロンドン暮色―イギリス紀行』（昭和二十一年八月十日研

究社出版株式會社「研究社選書」）、『コミュニ・クリティシズム―そ

の歴史と本質』（昭和二十四年七月五日弘文堂「現代芸術論叢書」）

等。

